



CORPORATE PROFILE

株式会社 ソリトンシステムズ

会 社 案 内

2026

HISTORY

1979

- 設立

1982

- インテル社から PCOS と Intel App との Middle Ware 開発依頼

1984

- 米国 Bridge Communications 社（その後 3Com と合併）と業務提携
- LAN 製品の販売を開始

1986

- 米国 Silicon Compiler Systems 社と業務提携、半導体設計 CAD の販売を開始

1989

- NTT の LAN 通信システムに選定される

1990

- LAN の OS 「3+OpenLAN マネージャ」日本語版を開発、販売開始

1991

- 「ソリトン日本語 TCP」を開発、販売開始

1992

- 「ISDNルーター」を開発、販売開始

1996

- Soliton Security Solutions の製品構想を策定
- Lotus Notes の販売開始

1997

- グループウェア「Lotus Notes」関連ソフト及び PC ログオン認証「C-Gate」を開発、販売開始

1998

- VoIP、IP 電話「Solphone」を開発、販売
- 統合管理「NetCare（現 e-Care）」を開発、販売開始

1999

- PC アクセス制御ソフト「SmartOn」を開発、販売開始

2000

- ポータルアクセス管理用ソフト「Soliton WebGate」を開発、販売開始

2001

- 電子申請システム「Digital Post」を開発、販売開始

2002

- 無線 LAN 用認証サーバー「Net' Attest」、IC カード型 PC セキュリティ「SmartOn」Felica 版を開発、販売開始
- 賃貸マンション・レオパレス向け「Video On Demand」システムの構築

2003

- 大規模ユーザー用 PC セキュリティシステム「SmartOn NEO」を開発、販売

2004

- ログ収集・追跡システム「InfoTrace」の初版を開発、販売開始
- 検疫ネットワークを実現する「Net' Attest SecurityFilter」を開発、販売開始

2005

- 統合 ID 管理ソフトウェア「ID Admin」を開発

2006

- 中国語版 / 英語版セキュリティ製品（SmartOn、InfoTrace、Net' Attest）を開発、販売開始

2007

- JASDAQ 証券取引所に上場
- サービス型 Security 対策「InfoTrace-OnDemand」を開発開始
- 「Net'Attest D3（現 NetAttest D3）」を開発開始

2008

- 「SmartOn」、InfoTrace のシンクライアント対応版を販売開始
- 映像伝送システム「Smart-telecaster」を開発、販売開始
- ファイル転送アプライアンス「Net'Attest FileZen（現 FileZen）」を開発、販売開始

2011

- 「Smart-telecaster」ハイビジョン版および Android 版を開発、販売開始

2012

- BYOD を実現する Mobile セキュリティを発表
- 「Excitor DME」を開発開始

2013

- 「Soliton SecureBrowser(SSB)」、「NetAttest BigData」を開発開始

2014

- 山形総合開発センターを開設
- NAB ショー（Las Vegas）に「Smart-telecaster」を出展
- デジタルフォレンジックの株式会社 Ji2 を子会社化
- Mobile セキュリティ・プラットフォーム開発のデนมーク Excitor 社を子会社化

2015

- H.265 対応で小型化した「Smart-telecaster Zao」を開発開始
- 「InfoTrace Mark II（現 InfoTrace Mark II for Cyber）」を開発、販売開始
- オランダに Soliton Systems Europe N.V. を設立

2016

- ストレージ仮想化ソフトの株式会社オレガを子会社化
- Black Hat(Las Vegas) に Cyber 製品を出展
- 東京証券取引所市場第二部へ市場変更

2017

- 「WrappingBox」を開発、販売開始
- 超小型 Smart-telecaster「Smart-telecaster Zao-S」を開発、販売開始
- 働き方改革の Security Set を販売開始
- アカウント漏えい調査サービスを提供
- 東京証券取引所市場第一部へ市場変更

2018

- 「InfoTrace Mark II for Cyber」搭載の技術が日本に続き、米国でも特許を取得
- 「WrappingBox」が Interop 2018 の Best of Show Award でグランプリを受賞
- 「Soliton Cloud Application Platform (SCAP)」を開発
- Threat Intelligence Service（脅威情報サービス）を開始

2019

- 高速データ分析プラットフォーム「Soliton NK」を開発開始
- モバイル用メールアプリ「MailZen」を開発開始
- 国産 IDaaS「Soliton OneGate」を開発、販売開始

2020

- ネットワーク分離特化型のアプライアンス製品「FileZen S」を開発開始
- Interop Tokyo 2020 Best of Show Award で「FileZen S」が準グランプリ、「Soliton OneGate」が審査員特別賞を受賞
- ウイルス感染に対処するテレワークを IT で支援「テレワーク」の IT ツールを期間限定で無償提供
- 静岡県が運営する自動運転実証実験事業「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」に参画

2021

- ソリトンシステムズと CCDS、IoT デバイスのセキュリティ認識の強化・普及のために提携
- 建設現場のテレワーク化、「遠隔現場」のシステム、期間限定で無償提供を開始
- 低消費電力エッジ AI チップが NEDO に採択
- 無人自動運転等の先進 MaaS 実装加速化推進事業（経済産業省）の委託先に採択

2022

- 中部国際空港において貨物牽引車の遠隔運転実証実験を開始
- 医療業界の DX に向けた遠隔医療実証を実施
- Wi-Fi 接続認証管理の「NetAttest EPS」と超短距離映像伝送装置「Smart-telecaster Zao-X」が、Interop Tokyo 2022 Best of Show Award で審査員特別賞を受賞

2023

- Soliton Executive Forum「国家安全保障とサイバーセキュリティ」を開催
- 国内初となる自動運転レベル4、無人運行サービスを福井県永平寺町にて4社共同で開始
- Interop 2023 Best of Show Award で「リモート運転」がグランプリ、「Soliton SecureBrowser II」が審査員特別賞を受賞
- エストニアの CybExer Technologies 社と提携し、サイバーレンジサービスなどを拡充

2024

- 令和6年能登半島地震にて、被災した自治体向けにウェアラブルカメラ及びクラウド型映像配信サービスを無償提供
- JAXA が開発した「SLIM」のピンポイント着陸を画像処理ソフトで支援
- Soliton OneGate が「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」に登録完了
- 業務 PC のデータレス化を実現するソフトウェア製品「Soliton SecureWorkspace」をリリース
- オンデマンド型自動運転（Lv.4）サービスの自動運転遠隔監視実証を国内で初めて実施

2025

- GIGA スクール構想第2期向け「NetAttest GIGA スクールモデル」の提供を開始
- ウクライナ復興支援協議会「JUPITeR」に参画
- 女性活躍推進企業として「えるぼし」認定を取得
- MFA 導入を容易にする PC ログオン認証クラウドサービス「SmartOn ID クラウド」の提供を開始
- ソリトンの自動運転「遠隔アシスト方式」を大阪府四條畷市が採用

<https://www.soliton.co.jp>



代表取締役社長

鎌田 理

ごあいさつ

当社は設立以来、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて・・・」を実現してきました。

1980年代初頭の創業期、大規模集積回路（LSI）、半導体が世の中を変えるという時、コンピュータの小型化、エレクトロニクス部品の知能化を可能にする、LSIの設計と設計用ツール、CAD/EDAに取り組みました。

そして1990年代に入り「コンピュータ、プロセッサが単独で稼働する時代はすぐ終わる」、「ネットでつながる時代が押し寄せる」と予想された頃、ソリトンは、LAN（Local Area Network）に進出、接続のためのルーターやプロトコルソフトなどを開発しました。インテグレーターとして多くの大規模ネットワークも構築し、日本のインターネットの黎明期を支えました。

21世紀に入り、アカデミックな世界から生まれたインターネットは想像を超えるスピードで普及し、我々の生活に欠かせない社会インフラになりました。世界中がネットでつながることのメリットは、想像を超えています。今後はAIによってデータ処理の高速化はさらに加速し、歴史上人類が経験した事のない社会環境の変化が続くでしょう。

極めて残念なことですが「便利なことは危険でもある」という原則がこの時代でも生きています。つながる事によって、ウイルス、マルウェアなど、いわゆる、サイバー攻撃などが多発するようになりました。ネットワーク化を推進したソリトンシステムズは、近年、その怖さ対策に全力で取り組むITセキュリティの国内トップベンダーの1つです。

ソリトンシステムズは、今3つの分野に取り組んでいます。

ITセキュリティ、リアルタイムの映像送信、そして特殊組み込みシステムです。「独創」と「ものづくり」にこだわり、グローバルな世界市場に向け、製品とサービスを提供しています。

CORPORATE MISSION

理念

ソリトンシステムズという社名は、物理学におけるソリトン波に由来しています。このソリトン波の持つ「特異性」と「多面性」を、組織活動と製品に反映させようと考えました。

この社名には、企業活動、製品、サービスにおいて「独創性」と「感動」にこだわりたいという理念が込められています。目指すところは、社会に必須の根幹技術をベースにした製品の開発とサービスの提供です。

役割

- ネットワークおよびマイクロなデバイス技術の進歩によって、量・質・スタイルがダイナミックに変化していく人間の知的活動を支援し、人々の幸せと社会の繁栄に貢献する。
- 最先端の技術で、顧客に喜ばれる質の高い製品とサービスを提供する。

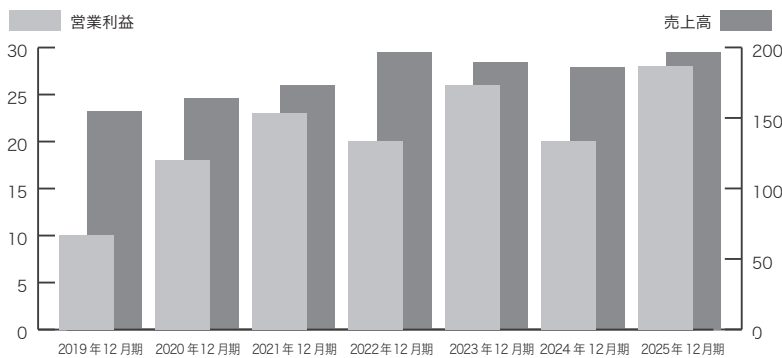
行動基準

- ビジネスにおいては、フェア（Fair）であること。コンプライアンスを守ること。
- 社員は仕事に誇りを持ち、いろいろな場面においてリーズナブル（Reasonable）に振舞うこと。

CORPORATE DATA

社名	株式会社ソリトンシステムズ (Soliton Systems K.K.)
本社	東京都新宿区新宿 2-4-3
設立	1979年3月1日
資本金	13億2,650万円
代表取締役社長	鎌田 理
社員数	809人(正社員647人・2025年12月31日時点)
国内事業所	開発分室(東京)、ロジスティックセンター(東京)、札幌営業所、東北営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所、山形総合開発センター、長野開発分室
海外拠点	アメリカ、オランダ

業績



売上高：197億円(2025年12月期)

営業利益：28億円(2025年12月期)

[連結、百万円]

ITセキュリティ事業

- 認証ベースのログオン制御、データへのアクセス制御、ログ収集システム、ネットワーク分離
- サイバーセキュリティ対策、サイバー脅威情報、情報漏洩調査とCSIRT関連サービス
- テレワーク用セキュリティ、IT機器の脆弱性検出

映像コミュニケーション事業

- 4G、5Gモバイル回線による高品質リアルタイム画像伝送システム「Smart-telecaster」の開発・販売、車、重機の遠隔操縦

Eco 新規事業開発

- アナログ・デジタル混合半導体デバイスの開発・販売
- 特殊映像伝送システムの開発



本社オフィス



EDIX(教育総合展)大阪2025



SmartOn ID



NetAttest EPS

ISMAP

ISMAPクラウドサービスリスト登録済み

Soliton
OneGate



JAXAから送られた感謝状

※1: 株式会社富士キメラ総研「2004～2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 デバイス認証ツール」調査結果より

※2: 株式会社富士キメラ総研「2025 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧 RADIUS サーバー市場」調査結果より